

テーマ

「PMDD—月経前不快気分障害  
の治療戦略」

日時：2021年2月28日 (日)

13：00～16：00

場所：Zoomによるオンライン研究会

参加費：JCOP会員(医師)：3,000円

非会員(医師)：4,000円

医師以外：2,000円

日本精神神経学会認定 精神科専門医B群  
3単位 取得可能(申請中)

第I部 症例提示・グループワーク

(13：00～15：30)

「PMDD—月経前不快気分障害の治療戦略」

演者：中村 稔 (青山メンタルクリニック 院長)

座長：西松 能子 (あいクリニック神田 理事長)

第II部 特別講演 (15：30～16：00)

「精神科診断に関する提案」

演者：岩谷 泰志 (いわたにクリニック 院長)

第I部【抄録】

女性の心身症として月経前緊張症PMSは代表的疾患である。PMS の中でもより精神症状の重症化した病態が月経前不快気分障害 (premenstrual dyspholic disorder: PMDD) である。

抑うつ気分、不安・緊張、情緒不安定、怒り・苛々など4つの中核症状に加えて、食行動の変化や睡眠障害などの特徴的な症状が月経前に出現することで、社会活動や人間関係を障害する。PMDDの病因・病態は明らかでなく、確立した標準治療がないのが現状であるが、精神科臨床において中等症以上のPMDD に遭遇する機会は少なくない。

病因・病態に関する仮説に基づき、抗うつ剤、気分安定薬、非定型抗精神病薬などの効果発現機序を概説して無効例、有効例を呈示したい。

第II部【抄録】

2020年2月の当学会学術総会での基調講演において最近の臨床精神医学的知見を演者なりに統合し、体系づけた理論を展開した。ここで紹介したセオリーは臨床現場で経験する様々なパラメーターを演者個人のセンスで抽出し、理論的に組み上げたものであるが、その過程だけでなく、ある程度の結論に至った後も1年以上の検証を続けたものであり、「臨床的エビデンス」と言える内容であると確信している。これを元に執筆した著書を紹介する形でこの診断理論とそれに基づいた治療論を提示する。

【WEB開催についてのご案内】

- 1) 本研究会は、Zoomミーティング機能を利用します。メールでお送りするURLをクリックするだけで参加可能です。
- 2) 専門医単位認定を希望される方は、日本精神神経学会の会員番号を必ず記載してください。単位認定は研究会の開始から終了まですべて視聴することが要件です。
- 3) 参加申込後、参加費支払方法等についてメールでご案内いたします。内容をご確認の上、手続きをお願いします。

第45回研究会 参加申込書 申込〆切 2月22日(月)

氏名	名	《JCOP会員・非会員医師・医師以外》	
所属	先		
連絡先TEL / FAX	TEL :	FAX :	
連絡先メールアドレス		@	
専門医単位希望	あり (日本精神神経学会会員番号 :	) ・なし	

【お問合せ先】

日本外来臨床精神医学会事務局 〒101-0047 東京都千代田区内神田3丁目14-8 ニシザワビル6階  
TEL/FAX : 03-5289-7290 / Mail : info@jcop.xsrv.jp / HP : <http://jcop.xsrv.jp/>